

今年度重点目標	自己評価			学校関係者評価	
	肯定的回答の平均(%)	評価	概要と今後の改善策		
<p>1 確かな学力と地域貢献意識を持った生徒を育成する</p> <p>○確かな学力 基礎学力が定着した生徒 高度な課題研究に取り組める応用力を持った生徒</p> <p>○地域貢献意欲 地域の課題を認識し、創造的に課題解決に取り組むことができる生徒</p> <p>○キャリア創造力 自己を理解し、その強みを生かして、自己実現をめざし続ける生徒</p>	82.4	B	<p>(学習について) 授業改善・授業の工夫に関しては、教育課程モデル事業の実施等で比較的良い評価が得られた。問題点は家庭学習についてであり、日々の授業で予習・復習をするための手立て(小テストの実施等)を行ったり、課題テストを定期的実施したり、毎日の学習時間記録を記入させているが、それが家庭学習に結び付いていないと思われる。 学校全体で高い進学意識を持つ生徒を育てる必要があり、生徒が学習への高いモチベーションを持って授業や課題に対しても意欲的に取り組むことができると思われる。学校全体が一枚岩になり、協力し合いながら、教科会や学年会等で意見を出し合い、具体策を具現化していく必要がある。来年度は教育課程実践モデル事業の実施をとおして、家庭学習が充実するようにしていきたい。</p> <p>(進路について) 今年度初めて模擬試験や補習の取組について質問したが、1・2年生については評価が低い。学習習慣が定着しないため、模試や補習の意義を深めることにつながっていない。 低学年から進学に対する意識付けを授業や各HRで行い、時間をかけて気運を醸成していきたい。</p> <p>(キャリア教育) 1年生「産業社会と人間」や2年生「総合的な学習の時間」の取り組みについて生徒・教員からは前向きな評価が多かった。しかし、保護者からはよく分からないという回答も多く、学校での取組の広報が不足していた。 探究的な活動については教員から生徒に関わっていく必要があり、活動ごとに目的や進め方などについて教員間で共有する場を作っていくべき。また、活動の状況については学校だよりやホームページで紹介できるようにしていきたい。</p>	B	<p>(学習について) ・課題が多すぎるという記述意見があった。大事なところを確実に押さえるという家庭学習の方法も必要ではないか。 ・与えられた課題だけでなく、自分で考えて勉強したいという声もあるので大事にしてほしい。 ・生徒のキャパシティは限られている。基礎・基本を徹底的に身につけさせ、家庭学習でひとりでも復習できるように工夫してほしい。</p> <p>(進路について) ・この部分は生徒に必ず理解させたい、という模試の使い方はできないか。</p> <p>(キャリア教育) ・キャリア教育のレベルの高さに驚いた。大学で取り組んでいるレベルのものであり、先生方がかけている時間や労力は大変なものだと思う。来年度は実績が認められるとよいと思った。</p>
<p>2 社会に通じる人間力を持った生徒を育成する</p> <p>○自己管理能力 あいさつ、掃除、整理整頓が自らでき、時間を遵守できる生徒</p> <p>○コミュニケーション能力 他者を思いやり、正しく自己主張ができる生徒</p> <p>○実践力 ボランティア精神に富み、積極的・主体的に行動できる生徒</p>	88.0	A	<p>(基本的生活習慣、交通マナー) 望ましい基本的生活習慣、交通マナー、部活動への取組などどれも高評価となっている。頭髪服装など概ね良好ではあるが、ごく少数で茶髪や、化粧をする生徒がいるとの保護者の意見があった。色付きリップ、カラーコンタクトなど全体的に問題となっていることもあるので、それらも含めて見逃さない姿勢で取り組みたい。 保護者の意見で、送迎マナーの悪化を指摘する意見が多く、来年度に向けて更なる啓発活動が必要と思われる。保護者にも協力を要請したい。 SNSの使用の在り方については入学当初に具体的に指導をする必要があった。</p> <p>(いじめ) どの学年も「分からない」と回答した生徒、保護者が多かった。いじめ防止の活動について保護者への説明が不十分であるので、保護者対象のアンケートの実施など考えていきたい。生徒については、今年度アンケートの回数を5回に増やし早期対応できるようにしてきた。引き続き年間5回実施していきたい。いじめアンケートを実施すると同時に、担任による生徒面談で状況を把握するように努める。また、生徒の観察を十分に行い、いじめが発生する前に見つけ出せるように努める。</p> <p>(健康、環境) 生徒の心身の悩みについて、スクールカウンセラーの来校や保健室で相談できることを保健だよりや生徒を通して呼びかけており、さらに生徒・保護者に周知していきたい。 生徒の清掃活動について、保健委員による取組喚起の呼びかけの回数を増やしたり、教員による清掃指導を進めていく。</p> <p>(人権教育) 概ね良い評価をいただいております、今後一層人権・同和教育の推進に努めていきたい。教員の言動等については、生徒の人格・人権を尊重して対応するよう、一人一人が気を付けるよう周知するとともに、校内研修を実施して人権意識を高めていく。</p> <p>(生徒会、ボランティア活動) これらの活動履歴は、今後、進路実現のためにもより重要になってくる。その点を意識させながら指導したい。</p>	A	<p>(基本的生活習慣、マナー) ・所定の駐車場以外での送迎マナーの悪さについてはずっと以前から課題であり、子どもに言う前に大人がしっかりしてほしい。春先にパトロールをするとか、プラカードをもって正しい駐車場に車を止めてもらえるように呼びかけることなども必要か。 ・生徒の低年齢化や実体験の不足など、今後の生徒の指導について考えるべきところがあるかもしれない。</p> <p>(いじめ) ・いじめのアンケートは無記名でもやってみてほしい。無記名だから出てくる問題もある。</p> <p>(人権教育) ・教員の言葉使いや服装など、これまでも気にかかることがあったので大人が心を入れ替えていかなければならない。十分に気をつけてもらいたい。</p> <p>(生徒会、ボランティア活動) ・ボランティア活動は部活動単位で行っていることも含めると、もっと評価は高くなる。アンケートの質問の文言を、保護者に分かりやすく変えるとよい。</p>
重点項目以外で評価を求めたい項目	87.6	B	<p>本年度はホームページの更新による広報に力を入れ、アクセス数も5万件を超えた。一方、来年度は、保護者・地域・近隣の中学生への情報発信を充実させるために、ホームページに記載された記事や写真を利用することにより、簡易版の学校だよりを毎月発行するようにしたい。</p>	B	<p>・「学校だより」を紙で出すことにこだわらず、学校であった出来事をどんどんホームページにアップしてもらいたい。 ・地域とのつながりから回覧板に載せることなどと考えると、「学校だより」は紙で出してもらいたい。</p>